

令和5年度
障害者スポーツ推進プロジェクト
（特別支援学校等における運動部活動の
地域連携・地域移行支援事業）

事業報告会資料

滋賀県文化スポーツ部スポーツ課

1 本県のこれまでの取組状況

- ・平成27年度よりスポーツ庁の「障害者スポーツ推進プロジェクト」を活用し、障害者が身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、総合型クラブ等と連携して取組を推進してきた。
- ・障害者スポーツ教室開催のノウハウを有する総合型クラブ等が、経験のないクラブにノウハウを共有し、新規の実践クラブとなるよう支援を実施してきた。
- ・これらの取組により、総合型クラブ等が障害者スポーツ教室を開催するノウハウが蓄積され、令和5年度は16の総合型クラブ等が障害者スポーツ教室に取り組んでいる。
- ・また、「障害者スポーツ理解促進事業」として、障害のある人もない人も一緒にスポーツをする機会を設けることで障害者スポーツの認知度向上と理解促進を図るとともに、障害者スポーツに関心のある人に講習会を行い、障害者スポーツに対する人材育成を進めてきた。

2 事業実施の概要（1）

■ 目的

総合型クラブ等が、これまでのノウハウを活用しながら障害者スポーツ教室に取り組み、特別支援学校・特別支援学級等に通う児童・生徒等をはじめとした幅広い障害者の受皿となることで、地域において生涯にわたって継続してスポーツに親しめる場を提供するほか、障害者スポーツの理解促進・人材育成のための取組を実施することで、障害のある方とない方がともにスポーツを楽しむ環境を充実・整備し、共生社会の実現を目指す。

■ 実施内容

- 総合型クラブ等による障害者スポーツ教室の開催
- 先進団体による教室の見学会、出前教室、指導者等派遣
 - ①体制整備事業（新規）
 - ②体制整備事業（充実）
 - ③体制整備事業（先進）

2 事業実施の概要（2）

身近な地域でスポーツに親しむことができる環境を充実・整備

スポーツを通じた
共生社会の実現

○障害者スポーツ推進会議（実行委員会）

- ・事業の進捗管理、事業に対する助言や地域課題の整理、対応策の検討
- ・特別支援学校等への情報提供や、特別支援学校等が抱える課題の整理、対応策の検討

・総合型クラブ等を受皿とした、地域で障害者が生涯にわたってスポーツに親しめるモデルの構築。

・障害者スポーツの理解促進・人材育成の取組等による、障害者スポーツを支える人材の確保。

○障害者スポーツ共生社会プロジェクト（県単独）との連携

- 大学等を中核とした新たな実施枠組みの検討
- 福祉コーディネータによるマッチング支援

○児童生徒等を受け入れる受皿の整備

体制整備事業（新規・充実）

○障害者スポーツ教室、出前教室等の開催

①新規：総合型クラブ等 1団体

②充実：総合型クラブ等 13団体

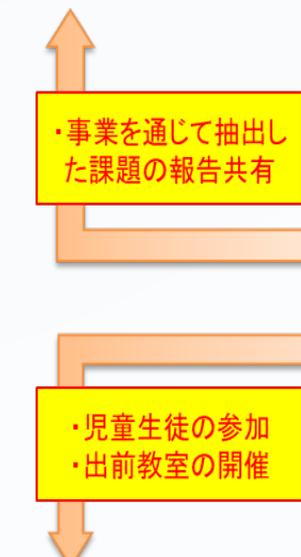
③先進：総合型クラブ等 2団体

○障害者スポーツの理解促進・人材育成

理解促進・人材育成事業

○障害者スポーツの普及事業（講習会）および啓発事業（体験会）を通じた理解促進・人材育成

④指導者協議会・障害者福祉センター 2団体



特別支援学校・
特別支援学級 等

2 事業実施の概要（3）

■ 障害者スポーツ推進会議（実行委員会）

実行委員会：参画団体名	
1	公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会
2	公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会
3	NPO法人滋賀県精神障害者家族会連合会
4	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会
5	滋賀県パラスポーツ指導者協議会
6	滋賀県スポーツ推進委員協議会
7	滋賀県障害者自立支援協議会
8	滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
9	特定非営利YASUほほえみクラブ
10	びわこ成蹊スポーツ大学
11	滋賀県特別支援学校体育連盟
12	滋賀県立リハビリテーションセンター
13	滋賀県広域スポーツセンター
14	NPO法人スペシャルオリンピックス日本・滋賀
15	社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会
16	滋賀県障害者卓球連盟
17	滋賀友泳会
18	滋賀県立聾話学校

※13～18はオブザーバー

【実施状況】

2回（12月、3月）

【主な議題】

- ・特別支援学校・特別支援学級との連携の在り方
- ・障害者の日常的なスポーツ活動を支える仕組みについて

【意見等】

- ・学校現場では、保護者と話すことは校内での生活が中心となり、地域スポーツ活動の情報把握が十分にできていないことを課題と感じている（滋賀県特別支援学校体育連盟）
- ・保護者の理解がなければ成立しない面もあり、そのために安心して参加できる体制づくりが必要（滋賀県パラスポーツ指導者協議会）
- ・児童生徒や選手の移動手段が課題
- ・体育を含めてスポーツ活動において視覚障害者が取り残されている（滋賀県視覚障害者福祉協会）
- ・特別支援学校教員経験者が地域での活動に携わることで、連携がとりやすくなり、効果が表れてきている（滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会）
- ・地域の障害者スポーツの受皿として活動している団体は一定あるので、学校での情報共有を進めてもらえば（YASUほほえみクラブ）

2 事業実施の概要（4）

■ 体制整備事業（新規・充実・先進）

	クラブ名	所在地
新規	伴谷BANBANクラブ	長浜市
	奥びわ湖スポーツクラブ	長浜市
充実	NPO法人TSC	高島市
	ぽぽんた倶楽部	甲賀市
	NPO法人能登川総合スポーツクラブ	東近江市
	NPO法人多賀やまびこクラブ	多賀町
	アザックとよさと	豊郷町
	湖南ちよいスポクラブ	湖南市
	甲賀市パラスポーツ協会	甲賀市
	守山市障害者スポーツ協会	守山市
	は一と貴生川スポーツクラブ	甲賀市
	余呉はごろもクラブ	長浜市
	高月総合型スポーツクラブ	長浜市
	きのもとeye's	長浜市
	先進	NPO法人レインボークラブ
NPO法人こうかサスケくらぶ		甲賀市

①新規

未実施または実施の少ない地域における受皿を整備するため、新たに総合型クラブ等を拠点として、特別支援学校の児童生徒等をはじめとした障害者や地域の住民を対象とした障害者スポーツ教室等を実施する。

②充実

障害者スポーツ推進事業を継続してきた結果、地域とのつながりができつつある。その関係性をさらに発展させ、かつ、特別支援学校等との関係を構築することで、スポーツに継続して親しむことができる環境を整備する。

③先進

先進的に障害者スポーツ教室に取り組む総合型クラブ等が、教室見学会の開催や、他の総合型クラブ等の教室等にスタッフを派遣することで、教室開催のノウハウを共有する。また、特別支援学校の児童生徒等も対象に広げて障害者スポーツ教室を実施し、地域でスポーツに継続して親しむことができる環境を整備する。

■ 実施の様子



3 今後の展望等

■ 課題・今後の方向性等

- 引き続き地域の受皿となる総合型クラブ等の拡充を進める。
- 特別支援学校・特別支援学級と総合型クラブ等の連携を強化し、教室への参加促進、学校での出前教室の取組拡充を図る。
- 特別支援学校・特別支援学級と総合型クラブ等が、それぞれの場所での生徒児童の活動状況を共有できる仕組みの検討を進め、実施のための制度上の諸課題の解決を図る。
- 持続可能な取組とするため、行政からの支援だけでなく、利用者負担や企業等からの協賛を得る仕組みを検討し、総合型クラブ等が自立的に教室に取り組める体制の構築を図る。

住所：〒520-8577 大津市京町4丁目1-1

滋賀県文化スポーツ部スポーツ課交流推進室 小谷・谷澤・大屋

TEL:077-528-3366 FAX:077-528-4841 MAIL:sports_epo@pref.shiga.lg.jp